

熊本県阿蘇家畜保健衛生所 阿蘇市一の宮町宮地2639-1
TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



踏込消毒槽を農場の出入りに設置しましょう！

～伝染病予防の基本は「持ち込まない」・「持ち出さない」～

口蹄疫の発生から数年たった今、出入り口での消毒を忘れがちになっていませんか？

もし、口蹄疫等の伝染病が発生してしまったら……被害よりも日々の消毒薬の方が非常に安価ではないでしょうか？

しかし、消毒薬は動物用医薬品のため、入手しにくい場合もあると思います。

そこで、今回は、安価で入手しやすく、環境への負荷が少なく、効果が比較的長持ちしやすい消石灰を用いた踏込消毒槽について紹介します。

【材料】

- ・水 : 10リットル
- ・消石灰 : 1kg

※濃度を10%をめやすに消石灰を溶かして下さい。

【消毒槽の使い方】

①洗い用水槽で長靴に付いた糞や泥などのよごれをブラシ等で取り除く
※堅めの人工芝などを入れるとブラシの代わりになるので便利です

②消毒槽へ長靴を10～30秒間浸す

※消石灰は強アルカリ(pH12以上)により消毒効果を示すため、

長靴の踏み込みは一瞬ではなく、ジャバジャバしながら、しっかり行ってください。

強アルカリ性なので
目に入らないように
注意してください。

【ポイント】

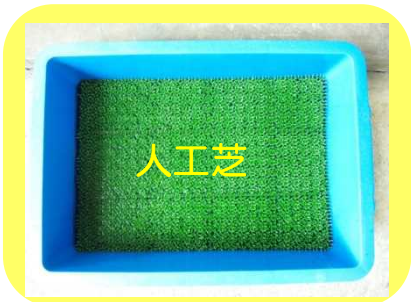
☆消毒液はこまめに交換しましょう！（最低一週間に一回は交換）

☆泥、土や糞の消毒槽への侵入を防止しましょう

（有機物による効力減少の予防）

☆複数の薬品を混ぜないこと！

（消毒薬により、作用機序や希釈倍率が異なりますので、混合は不可です。）



夏場の死亡牛の搬送は迅速に！

例年、夏場においては、暑熱による影響から死亡牛が増加する傾向にあります。

また、気温の上昇に伴い短時間で死亡牛の腐敗が進行し、悪臭等の環境問題の発生や、腐敗の影響により死亡牛のBSE検査の実施が不可能となる場合も危惧されます。

さらに、菊池市にある(株)熊本蛋白ミール公社(以下、公社)において、腐敗が著しく、適切な化製処理が困難になった牛の場合は、下記のとおり化製処理料が高くなります。

月齢	通常の化製処理料
3ヶ月未満	6,000円
3ヶ月～24ヶ月齢未満	10,000円
24ヶ月齢以上	16,000円

腐敗牛と
なった場合

一律 35,000円
(月齢関係なし)

そこで、BSE 検査所並びに公社では、7月から9月までの期間において、腐敗牛の発生を減らすため、土曜日の午後も受入の延長を実施します。

牛が死亡した場合は、涼しい場所での保管及び迅速な搬入をされますよう、生産者の方々のご協力をお願いします。

○受入時間延長の期間

平成26年7月1日(火)～平成26年9月30日(火)までの3ヶ月間

○期間中の土曜日の受入時間

午前	8:30 ~ 11:30
午後	1:00 ~ 3:00

※通常の土曜日は午前のみ対応

○期間中の祝日等の対応 ※日曜日は休業です。

祝日等	祝日名等	業務日程	受付時間
7月21日(月曜日)	海の日	特別業務	午前 8:30～11:30 午後 1:00～3:00
8月15日(金曜日)	お盆	休業	—
9月15日(月曜日)	敬老の日	特別業務	午前 8:30～11:30 午後 1:00～3:00
9月23日(火曜日)	秋分の日	休業	—



死亡牛受付の問い合わせ先：

(株)熊本蛋白ミール公社 電話：0968-26-3766

中央家畜保健衛生所BSE検査所 電話：0968-26-3200

『BSE検査所に搬入された24ヶ月齢以上の死亡牛頭数と気温の関係について』

BSE検査所には、県内全域から死亡牛（24ヶ月齢以上）が搬入されていますが、その頭数は季節により大きく変動しています。その要因のひとつとして気温が考えられることから、過去7年間のデータを分析したところ、以下のような傾向が認められました。

- 県全域で見ると、**最高気温が25℃（阿蘇地域では21℃）に達すると乳用牛の死亡頭数が増加**しています。
- 特に乳用牛を飼養している農場では、熱射病などによる死亡率を低下させるため、最高気温に重点を置いて、扇風機での送風や散水を行うなど、畜舎温度や体感温度を下げる暑熱対策を早めに始めましょう。

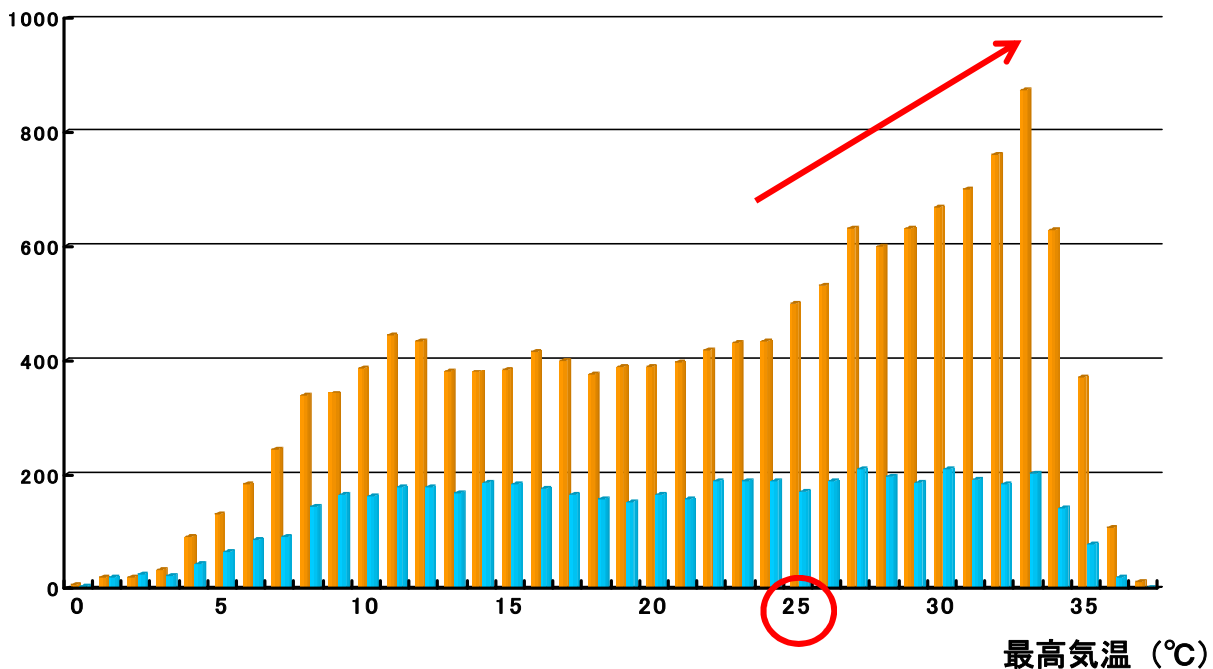


暑熱ストレスにより体力・抵抗力が落ちている乳牛は、乳房炎になりやすい状態にあり、**甚急性乳房炎の発症が増加**します。

そのため最高気温が高くなる時期には、より一層、乳房炎の予防をしてあげましょう。

熊本県全域

■ 乳用牛
■ 肉用牛



家畜伝染病発生情報メールサービスをご活用下さい！

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくはQRコードより登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

又は



近隣諸国における悪性伝染病発生情報（7月2日現在）

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	ロシア	5月28日	豚	○
アフリカ豚コレラ	ロシア	5月15日～6月19日	豚	-
小反芻獣疫	中国	5月25日～6月7日	山羊 羊	-

（概要）アフリカ豚コレラについて

- ・アフリカ豚コレラウイルスが豚やいのししに感染する伝染病であり、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い（急性経過では100%死亡）伝染病です。
- ・日本は本病の清浄国ですが、アフリカでは常発的に、ロシアやその周辺諸国でも2007年頃より発生が確認されています。
- ・今後も海外からの侵入に常に警戒し、発生予防に努めることが重要です。
- ・過去の事例から、清浄国でアフリカ豚コレラが発生する原因は、ウイルスに汚染された航空機や船舶から出る厨芥残渣を豚に給餌したことによるものです。発生国からの肉製品等の持込みは、機内食も含め堅く禁じられていますので、これらの国々を訪れた際には、畜産関連施設への立入も極力控えていただくとともに十分に御注意ください。



～アフリカ（26カ国）～

- アンゴラ
- ベナン
- ブルキナファソ
- ブルンジ
- カメルーン
- カーボヴェルデ
- 中央アフリカ
- マラウイ
- モーリシャス
- モザンビーク
- ナミビア
- ナイジェリア
- ルワンダ
- セネガル
- チャド
- コンゴ民主共和国
- コンゴ共和国
- ガーナ
- ギニアビサウ
- ケニア

- マダガスカル
- 南アフリカ
- タンザニア
- トーゴ
- ウガンダ
- ザンビア

～ヨーロッパ（10カ国）～

- アルメニア
- アゼルバイジャン
- グルジア
- イタリア（サルジニア島に限る）
- ロシア
- ウクライナ
- ベラルーシ
- リトアニア
- ポーランド
- ラトビア